

COMMUNICATION

Pickup社員



CONTENTS

- ◆ 中特ダチョウ倶楽部
- ◆ お客様紹介 徳山医師会病院様
- ◆ 廃棄物法令レポート
- ◆ こどもっちゃ! 商店街に参加!!
- ◆ テレビカメラ車
- ◆ クイズコーナー

ごあいさつ

中特グループ CEO 橋本ふくみ

皆さん、お楽しみ様です。
 今年は酉年、ダチョウ年ですね。
 早いもので、我が社にダチョウが来て、今年で5年になります。

当初は、専門家である(後に登場)教授に、「1年も持たずに死ぬよ」などと言われたものでしたが、1匹を除いた7羽は、現在もすくすくと元気に育っています。

中特グループのダチョウは、現在、全国的にも知られているとのことで、先日もある新聞記者の方から、今や、「中特グループって、あのダチョウの？」とよく聞かれるそうなんです。
 まるで想定外でしたが、我が社のダチョウくん達は、5年経った今、中特グループの宣伝部隊として大活躍しています。

この頃特に、「ダチョウを飼うことになつたきっかけは何ですか？」と尋ねられることも多いので、今回はそんなことを記したいと思います。
 あれは、東日本大震災の前の年だったと思います。

ある日、仲良くさせて頂いている、業界新聞のIさんが我が社に来られ、いつものように雑談に花を咲かせていました。そして、話も終盤に差し掛かった頃、Iさんが、「そう言えば、ダチョウ

て面白いですよ、ほんま何でも食べるんですわ」と仰いました。しかし、その時の私のリアクションと言えば、「へへ、ふん、そう」で終わりでした。

私のダチョウに対するイメージと言えば、動物園の中でも、あまり目立たない場所で飼育されていて、象やキリンのように花形の存在でもなく、唯一知っていることと言えば、皆さん同様に、巨大な卵を産むってことくらいです。ですから、正直言って、その時は全く興味を持ちませんでした。

一方で、中特グループの吉本興業は、毎日スーパーなどから廃棄される新鮮な野菜くずを回収しており、勿体無い何か再利用する方法はないだろうかと考えておりました。

そんなある日、突然私の頭の中で、ダチョウが何でも食べることに、廃棄される野菜くずが合致したわけなのです。思い立ったら即行動、というわけで、幸いなことに九州新幹線が開通したばかり、ここ徳山からダチョウのいる鹿児島まで日帰り可能ということで、見に行つたのが始まりです。

その後、入社3年目のY社員に1週間飼育の修行に行ってもらい、お世話になつたダチョウ牧場から仕入れ、現在に至るといわけです。飼育係の皆さん、いつもありがとうございます。

ひよんなことからダチョウを飼い始めましたが、その秘めたる力に日々驚かされ、以後「D(ダチョウ)プロジェクト」と名付け取り組むことにしました。

ダチョウは、野菜くずを1日あたり1羽が10キロ、7羽で年間約26トン食べています。5年でざつと130トンになります。しかも体外へ排出するのはたつたの2割ですし、また、従来は焼却処理をしていましたので、CO2の削減にも貢献しています。

飼育していく中で、他にもダチョウには秘めたる力がたくさんあることを知りました。

改めて、鳥なのに鳴かない、飛ばない、臭わない。骨が見えるほどの怪我をしてもたいていは1、2週間で自然治癒します。それに、何と言っても、そうです、巨大な卵です。

7羽のうちのメス5羽は、一年間に卵を200個以上も産んでいます。本来、産卵期は春から秋と言われていますが、うちのダチョウたちは、今年も年明け早々に産んでいます。

始めて産まれた卵を見た時は、それは感動しました。嬉しくてホットケーキを作りましたが、卵一個に対しホットケーキミックス20袋を要しました。社員みんなで食べ、その場におられたお客様にも、それでも食べきれずに社員に家に持って帰ってもらいましたね。

その他、ご近所のパティシエにお願いすると、卵一個に対し、プリンは60個、

シュークリームは50個というように、ダチョウの卵の大きさに圧倒されました。

他に何か有効利用は出来ないか、そう考えあぐねていた時、「ダチョウ力」という一冊の本に出会ったのです。この本から、更にダチョウには物凄い底力があること知り、何よりも著者のダチョウに対する並々ならぬ深い愛情を感じ取りました。ここでも、思い立ったら即行動、ということ、著者の京都府立大の塚本康浩教授に直電し、「決して怪しい者ではありません、ダチョウを飼い始めた者です。」から始まり、以来、交流させて頂いているわけです。塚本教授は、ダチョウの卵から様々な抗体を作るスペシャリストです。現在では、ダチョウの卵を利用した、ハウスダスト対策商品「アレプロテクト」の共同開発やジカ熱抗体への貢献をさせて頂いております。

中特グループは、様々な「不要とされた物から価値を生み出す事業」を行なっていますが、その中でも、野菜くず↓ダチョウの餌↓ダチョウの卵↓アレプロテクト等は、究極のリサイクルと言えるのではないのでしょうか。

そう言えば、飼い始めて知ったことですが、ダチョウって平均寿命がなんと50年だそうです。到底、私は彼らと最期を看取することは出来ません。私より若い社員の皆さん、10年後、20年後も、この話を語り継いで下さいね。

今後Dプロジェクトをどうぞよろしくお願ひします。

「第一回山口県女性活躍推進知事表彰」受賞

このたび、橋本ふくみCEOが「第一回山口県女性活躍推進知事表彰」に

への対応など、女性の視点で女性の強みを活かした事業を展開

おいて、「女性のチャレンジ賞」を受賞しました。この賞は、「様々な分野

●環境関連企業の社員としての人材育成のため「中特アカデミー」という独自の単位制講座の開講や小学校での出前授業など、人材育成や地域貢献に取り組む

でチャレンジし、地域で活躍する女性等の功績を称えるとともに、身近な

以上の活動内容が紹介されました。平成28年10月29日（土）に開催された「平成28年度男女共同参画フォーラム」にて表彰式が執り行われ、村岡嗣政山口県知事より表彰状が授与されました。

ロールモデルを示すことで、県民の理解と関心を高める」ことを目的に、今年度新たに創設された知事表彰です。

主な活動として、

●ダチョウ飼育による食品廃棄物リサイクルや商品開発、生前整理や遺品整理など高齢者のお困りごと

「平成28年度男女共同参画フォーラム」にて表彰式が執り行われ、村岡嗣政山口県知事より表彰状が授与されました。

サイクルや商品開発、生前整理や遺品整理など高齢者のお困りごと

ました。

表彰状

橋本ふくみ様



橋本ふくみ CEO

「しゅうなんイクボス同盟」に加入しました！



平成28年12月11日「しゅうなんイクボス同盟」が結成され、中特

ホールディングスが加入をしまし

た。「しゅうなんイクボス同盟」と

は、子育てや介護など、さまざま

な家庭事情を持ちながら働く人のワーク・ライフ・バランスを

理解し、働きやすい職場環境を整える上司を指す「イクボス」

の精神に賛同し、各事業所内で「ワーク・ライフ・バランス」

を推進する市内企業、団体、事業所、公的機関、学校が同盟を

結成したものです。加盟事業者は「イクボス宣言」を行い、事

業所内でワーク・ライフ・バランスへの取組みを推進していき

ます。

中特ホールディングスは登録第一号！社員ひとりひとりが充実した人生を謳歌できるように、「ワーク・ライフ・バランス」の風土づくりを積極的に推進していきます。



平成28年12月11日
ワーク・ライフ・バランス講座
＆イクボス同盟結成

新コーナー 中特ダチョウ倶楽部

第1回目は、橋本ふくみCEOのあいさつに登場した中特グループのダチョウさん達を紹介します。

- 青→男の子
- ピンク→女の子

4 名前:トミー 愛称:トミー

うちの子の中で一番沢山、卵を産んでくれます!あまり動じる事なく毅然としています。そんなトミーですが、たまに甘えるギャップが可愛いです。



2 名前:チョウ 愛称:チョウちゃん

体が一番大きく、バナナが大好物!ダーちゃんと、よく喧嘩をしますが基本ダーちゃんを尊敬しているので寝る時は一緒、目が大きくて今風で言うイケメン。

1 名前:ダー 愛称:ダーちゃん

食が細くて体が一番小さいけど、怒ったら強い!目が少し細く昭和の男前。女の子には優しいのでタエちゃんに愛されています。卵も優しく抱きます。

3 名前:タエコ 愛称:タエコちゃん

ダーちゃんを愛しています!チョウちゃんに、よく追いかけられます。しかし愛するダーちゃんと一緒に居たいので、どんな苦勞も耐えてみせます!昭和の女性って感じます。



ダーちゃん & チョウちゃん

6 名前:エイコ
愛称:エイちゃん

人なつっこく愛想が良いので皆に好かれます。通常ダチョウさんは、3月～9月が産卵期ですが、エイちゃんは、お正月にも卵を産んでくれます!



7 名前:イワシ
愛称:イワちゃん

水道のホースから水を飲むのが大好きで、人の好き嫌いもハッキリしています。例え嫌いな人でもホースから水を飲ませてくれる時はOK!それはそれ、これはこれ!って感じです。笑っちゃいます。



5 名前:レナ
愛称:レナちゃん

うちの子の中で一番大きな卵を産んでくれます。最も大きいので2.1kgの卵を産んでくれた事もあります!性格は人見知りで大人しいシャイな子です。



私たちは、この子達に出会えて本当に感謝しています。人間の私たちが学ぶ事が沢山あり、またいつも支えてくれます。みんな、ありがとう。愛しています。





第7回

こどもっちゃ！商店街に参加！！

平成28年11月23日、毎年恒例のこどもっちゃ商店街に参加させて頂きました。

今年からエコライフPJからエコライフチームとなり、よりグループ会社の全社員が一丸となって取り組む体制になり、期待と不安を持っての参加となりましたが、会場スタッフやボランティアスタッフ、当日応援に駆け付けてくれたグループ社員の皆さんのおかげで楽しんで取り組むことが出来ました。

当日の会場は例年にも増して、弊社のブースに来てくれる子供たちが多く、非常に賑やかで和気あいあいとした雰囲気でした。私たちの仕事は、お

客様の手元に残るような商品を産み出したり、提供したりする仕事ではなく、お客様の心に残るようなサービスを提供する仕事です。今回参加してくれた子供たちに、サービスという目には見えない商品があることを知っていただけたのではないかと思います。また、私たちのようなサービス業の魅力を感じてくれる子供たちが少しでも増えてくれたらと思います。

来年は、今回よりさらにバージョンアップしたブースを展開していきたいと思っておりますので、ご期待下さい。

エコライフチームリーダー 藤田 晃大



『廃棄物法令レポート』

Report

廃棄物処理制度専門委員会報告書

平成28年12月20日から平成29年1月19日にかけて、「廃棄物処理制度専門委員会報告書(案)」に対するパブリックコメントの募集が行われました。この後にまとめられる最終的な報告書は、次の廃棄物処理法改正の指針として重要なものになります。

さて、同報告書(案)では、「マニフェストの活用」というテーマが挙げられていましたが、これは「マニフェストに関して今まで以上に普及啓発していきます」という生ぬるいものではなく、「一部の排出事業者や処理業者への電子マニフェスト運用の義務づけ」や「マニフェストの虚偽記載への罰則強化」まで視野に入った。昨今の規制緩和の潮流とは逆の規制強化につながる可能性が示されました。パブリックコメント募集の段階では、電子マニフェスト運用が義務化される具体的な対象は明示されていませんが、一つの可能性としては「一定規模以上の特別管理産業廃棄物を排出する事業

者」と「特別管理産業廃棄物の処理を受託する産業廃棄物処理業者」への義務化が例示されています。この例示を前提とすると、排出事業者の場合は、「一定規模以上の排出量」という縛りがあるため、どの規模の排出事業者が対象になるのか不明確ですが、産業廃棄物処理業者の場合は、「特別管理産業廃棄物処理業者」は自動的に電子マニフェスト運用が義務化されることになるのかもしれない。しかしながら、特別管理産業廃棄物処理業者の場合は、現状でもほとんどの企業が電子マニフェストを導入済みと思われるので、義務化されたとしてもそれほど大きな影響は無さそうです。

影響が大きくなりそうなのが「マニフェストの虚偽記載への罰則強化」です。「ウチは虚偽記載なんてしていないので関係無いよ!」と思った方が多いかもしれませんが、本当にそう言い切れるかどうか、年初の今だからこそ、再点検をしておいた方が良さそうです。その理由

は、行政処分がきつかけにもつともなりやすいのがマニフェストの虚偽記載であり、多くの企業が間違った運用を正しいと思い込み、悪意なく法律違反の証拠としてマニフェストを保存し続けていることが多いからです。

また、もしマニフェストの虚偽記載に対する罰則が強化された場合、それに伴って行政処分もより重くなる可能性があることにも注意が必要です。現行法ではマニフェストの虚偽記載は、「6月以下の懲役または50万円以下の罰金(廃棄物処理法第29条)」という罰則ですが、これをより重くする場合は、少なくとも、第28条の「1年以下の懲役または50万円以下」以上の罰則の対象にする必要があります。「懲役が6ヶ月以下と1年以下ではあまり変わら

ないではないか」と思われるかもしれませんが、環境省が示す行政処分の目安(平成23年3月15日付環境産廃第110310002号「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条の3等に係る法定受託事務に関する処理基準について」)によると、現行法の第29条第四号(違反は「事業の全部停止30日間」)ですが、第28条(第二号)違反の場合は「事業の全部停止90日間」が妥当と示されています。罰則が強化されるだけで、事業の全部停止期間が3倍になる可能性があるのです。

もちろん、現在でもマニフェストの虚偽記載は刑事罰や行政処分の対象となる法律違反ですので、今すぐマニフェストが社内で正しく運用されているかどうかを確認しておいてください。



行政書士エース環境法務事務所代表
行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行といった単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されている。

その他、業界誌への寄稿、排出事業者向けのセミナー・講演、廃棄物管理状況の監査など、廃棄物処理企業以外に関係者にも廃棄物の適切な処理を進めていただくべく、精力的に啓発・教育活動も展開中。

Visitor Introduction

～ お客様紹介 ～



徳山医師会病院 様



西館から



航空写真（南西面）



リハビリセンター

当院は、昭和41年にオープンシステム徳山医師会病院として開設され、平成13年には地域医療支援病院の称号を取得しました。これを受けて、平成14年に地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院と名称を改め、周南医療圏で重要な役割を果たしています。

当院では、平成25年5月に新病棟180床が竣工、従来の西館病棟150床と合わせて330床の新体制となりました。完備したリハビリテーションセンターが設けられた他に、アイソトープ検査装置を含めた最新の検査機器が導入されました。更に、入院に対するアメニティーも格段に改善され、患者様にはきつとご満足いただけることと思います。

当院のオープンシステム制度は全国でもユニークなものです。徳山医師会の開業医が、自院で診療中の患者様に入院が必要となった際には、当院にご入院頂き、自らが主治医となって病院の医療スタッフ等と共同診療を行い治療することが出来ます。又、病院も常勤医を含めて看護、薬局、リハビリテーション、放射線、検査等の各部門が一致協力して診療に当たっております。これからも、ご利用ご支援賜りますようお願い申し上げます。

一般財団法人 徳山医師会
事務長 松村 紀文

Message

地域医療支援病院 オープンシステム徳山医師会病院 / 管理部

管理部総務課 廃棄物担当の小柴と申します。

産業廃棄物に関する業務に携わっており、中特グループ様には院内から出る一般ゴミと汚泥(グリストラップ)の廃棄物処理をお願いしております。

中特グループ様には、安心・安全で迅速な対応、最新の廃棄物の情報提供等さまざまな対応をさせていただいております。

また「環境 人づくり企業大賞」を毎年受賞、地域のイベントやボランティア活動にも数多く参加され、また今年度は熊本の災害支援にも積極的に活動された姿勢に強く感銘を受けました。

今後とも御社の益々のご発展を衷心より祈念申し上げます。

この人に聞く！



中特グループを長く支えてくださっているベテラン社員さんを紹介するコーナー「この人に聞く！」の第8弾です。

井上 稔朗さん

今回は身のこなしが軽やかな(株)吉本興業、ポータルハートサービス事業部主席の井上稔朗さんにインタビューしました。

Q1.入社されて何年ですか？

吉本興業へ入社→中特工事(現在のリライフ)→吉本興業と、32年目を迎えています。あつと言う間に過ぎましたよ(^^)

(え?32年って…一体、おいくつですか?)

54歳ですよ。

(ええええ、もっと若く見えますよ~)

(入社きっかけは?)

今となっては普通かもしれませんが32年前、土曜日はどこの会社も出勤という時代でした。職安に行った時に吉本興業は土曜日の休みもあるというのを見て思わず飛びついてしまいました(笑)

(それも重要ですよ~)

Q2.現在の業務は？

ポータルハートサービスとお客様のリクエストがあれば臨時で回収にまわったり、定期回収とは別の回収業務に携わっています。

お取引先様の回収場所は全て頭に入っているので、依頼があればすぐに向かうことが出来ます。

(長年の経験ですね~さすがです)

Q3.昔と今では…

私が入社した頃は、ゆったりと仕事をしていたような気がします。

今とは違い、ほぼ委託業務と定期回収で、ほとんど臨時回収はありませんでしたよ。今は、ポータルハートサービス、臨時回収など業務も増え嬉しい悲鳴をあげています。

あとは、パッカー車のデザインが変わってから、「前よりも、もっと良くなったね♪」と声をかけて頂く事も増えました。昔の色も渋くていいですが、今のデザインも気に入っています。

それと、以前は社内の親睦会主催でソフトボール大会があって皆で笑いながら汗をかいたのがとても楽しかったですね。現在ソフトボール大会がないので少し残念ですね~。そういうのもまたあればいいのになあと思っています。

(うわ~懐かしいですね、確かに楽しかったですね♪)

Q4.今までに一番印象に残った作業や珍事件はありましたか？

所謂、ゴミ屋敷と言われているお宅に回収に行ったのが一番

印象に残りました。テレビでよく見られる光景が実際に目の前に現れてビックリでした。

(分別が大変でこのような状況になってしまったのですかね?)

原因は分かりませんが、きっと分別が大変だったり、集積場所に持って行く体力がなかったりが原因の一つになるかもしれませんね。だからこそ、日頃から気を付けて片付けることが重要です。

(ポータルハートサービス事業部の「お片付セット」がピッタリですね。分別・回収してもらえたら楽チンですね)

ぜひ、「お片付セット」をご利用お待ちしております!!

Q5.長い間、今の仕事が続けられた秘訣は？

実は、入社前に結婚して子供も生まれて守るべき家族ができたのが一番ですかね。

子供には不自由な思いはさせたくなかったので、我武者羅に働いてきました。

家族はもちろんのこと、周りの人にも支えて頂きました。

Q6.今、はまっている事やこれから先やりたい事は？

う~ん、今やりたいことは「親孝行」ですね。

自分が小さい時に、両親に旅行に連れて行ってもらうのが楽しみだったので、自分が親になってからは、子供たちを旅行に連れて行って行っていましたね。今はもう子供も大きくなったので今度は自分が恩返しとして…残念ながら父は亡くなっているので母が元気なうちに旅行に連れて行ってあげたいと思っています…とは言いつつ思っただけでなかなか実行に移せていないですね~(T_T)

(早く実行してあげてくださいよ~(>_<),きっと喜ばれますよ、子供さんも一緒だともっと喜ばれると思いますよ)

Q7.最後に一言

ぼちぼち世代交代の時期かなと…

(何を仰っているのですか、まだまだ現役ですよ~)

これからは若い人にどんどん新しいことに挑戦してもらって、どの業務にも対応できるよう受け身じゃなく、率先して出来る人間になってもらいたいです。

自分たちが若いころに、先輩の仕事ぶりを見て覚えたように、言われたからやるのではなく、出来ることをどんどん見つけて自分のものにして欲しいです。



(インタビュー: (株)中特ホールディングス総務管理部 轟本・坂本)



管内検査カメラシステムを一新

テレビカメラ車

この度、エコ事業部eクリーニンググループでは多様化する顧客のニーズに応える為、管内検査カメラシステムを一新しました。41万画素CCDカメラ、高輝度LED搭載で管内の映像をより鮮明に写し出し、360°エンドレスにカメラヘッドが回転することで管内の隅々まで検査することが可能となっています。また、各種管径に応じて自走フレームを交換することでφ150～800mmまでの検査を行うことができます。管内の映像は車載されているPCに取り込まれ動画・写真・Excelファイル報告など、お客様のご要望にあわせた成果品作成が可能になっています。

中国特殊株 エコ事業部
eクリーニンググループ リーダー 内山 大輔



背面モニターで車両後部からも管内の状況が確認出来ます。



車両内部にてモニターで確認しながらカメラ車を操作します。



小規模用カメラ…φ150～200mm対応。小口径のマンホールも対応できます。
都市下水道用カメラ…φ200～800mm対応。自走ユニットを交換することで幅広い管種・管径の検査が可能。



ケーブル長が300mあるので長スパン調査可能です。また、後部からもカメラ車の操作が出来ます。

活動報告

Topic

徳山夏祭りボランティア清掃を行いました

7月30日(土)に第43回徳山夏祭りが開催され、(株)吉本興業が「ゴミ分別案内」と「ゴミ拾いの奉仕活動」で参加しました。

徳山駅周辺や青空公園周辺を歩き、きれいにすることができました。



中特グループ親睦会主催の懇親会を開催しました

8月10日(水)に下松健康パークビアガーデンにて毎年恒例となっている中特グループ親睦会主催の懇親会を開

催しました。おいしい食事を堪能し親睦を深めることができました。



第6回山口県議会地方創生特別委員会

8月23日(火)に開催された第6回山口県議会地方創生特別委員会において(株)中特ホールディングス 代表橋本ふくみが参考人として、「もっと女性が活躍できる職場環境づくり」について説明させていただきました。



2016年度中特グループ事業発展計画発表会開催

9月3日(土)に2016年度中特グループ事業発展計画発表会を遠石会館にて開催いたしました。

2015年度総括及び中特グループ未来地図の発表、2016年度各社の目標・方針・重点施策の発表が行われました。

発表会後は懇親会で表彰やビンゴゲームなど、とても楽しい時を過ごしました!



大津島ボランティア清掃に参加してまいりました

9月10日(土)に瀬戸内の海を美しくする会主催で開催された大津島海岸清掃に参加してまいりました。海岸に流れ着いたプラごみやペットボトルの回収、流木の回収を行いました。



第13回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchiに参加しました

9月24日(土)25日(日)で開催された第13回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchiに本年度も参加しました！15人で24時間たすきを無事つなげることができました。
今回で最後とのことで、初回から参加

してきた中特グループにとって寂しい気持ちも残ります。13年間ありがとうございました！



下松市第二埠頭ボランティア清掃に参加しました

9月24日(土)に「瀬戸内の海を美しくする会」主催の下松市第二埠頭ボランティア清掃に社員24名が参加いたし

ました。

海底清掃が実施され、ダイバーさんが海底で見つけたゴミをみんなで引き揚げました。



光市光井港ボランティア清掃に参加しました

10月15日(土)に「瀬戸内の海を美しくする会」主催で行われた光市光井港 岸壁・海底清掃ボランティアに参加して参りました。
ダイバーの方が海にもぐってごみをロープでくくり、皆で海底のごみを引き上げました。



(株)吉本興業が研修旅行へ行きました

10月29日(土)・30日(日)に(株)吉本興業が研修旅行へ行きました。
TOTO(株)ミュージアムの見学や、世界遺産に登録された万田坑の散策をしました。



中特グループ親睦会で日帰りツアーへ行きました

11月13日(日)中特グループ親睦会で、広島日帰りバスツアーへ行ってきました。三次ワイナリーでのバーベキューや、平田観光農園でのリンゴ狩りで親睦を深めつつ、食欲の秋を満喫

しました。



徳山港ボランティア清掃に参加しました

12月10日(土)に「瀬戸内の海を美しくする会」主催で行われた徳山港ボランティア清掃に参加してまいりました。大量の草木の回収や、周辺のごみ拾いを行いました。



中国山東省より技術研修生の方がリライフ工場見学に来社されました

山口県と中国山東省との友好協定に基づいた山東省環境保全パートナーシップ事業の一環で、12月16日(金)に技術研修生の方が(株)リライフの工場見学に来社されました。

中特グループやリライフについての説明の後、リライフの各施設をご見学いただきました。

中国からご訪問いただきありがとうございました！



徳山ツリー祭りでごみ拾いボランティアを行いました

12月23日(金)に行われた徳山ツリー祭りで、毎年行っているごみ拾いボランティアを実施しました。青空公園から、徳山駅周辺までのごみ拾いをしてまわりました。





中国特殊(株) エコ事業部
HOSグループ
主席 村田 耕平

私の趣味は「映画鑑賞」です。月に1回程度は映画館に足を運んだり、毎週1本はレンタルしています。話題になった「君の名は。」や「スターウォーズ」などは公開初日や2日目には鑑賞済みでした。



映画館に行くときは拘りがありまして、話題作は公開数日以内に見に行く。(友人にネタバレしない程度に自慢できます。) あま

り話題になつていない作品は、公開終了間際に見に行きます。(時間帯によっては貸し切り状態で鑑賞できます。) また、その作品が面白ければパンフレットを購入しています。

好きな俳優は、海外ではロビン・ウィリアムズ、国内では大泉洋さん。ロビン・ウィリアムズの「奇蹟の輝き」や「アンドロイユNDRIA」は、古い映画ですがおススメです。また、大泉洋さんの「青天の霹靂」も良いですよ。あとは総務管理部のAさんに教えてもらった「チャッピー」という作品。この映画、物語の大事なシーンで大変なことが起こります。

この映画おススメというものがありません。ぜひ教えてください。



私たちは、お客さまから不用品として回収した古着などをリメイクしています。汚れがひどい物については雑巾などにしていますが、最近ではなんと車のエアバッグがオシャレなバッグとしてリサイクルされ生まれ変わっているのです。その名も“yoccatta”。

そもそも、日本はアメリカ、中国に次ぐ世界第3位の自動車保有国で、その数は76,619千台にもものぼります。そして、そのうちエアバッグが作動するのは10%にも満たない数だそう。この数字は増えないに越したことはありませんが、このエアバッグについてはほとんどリサイクルされていないのが現状です。そこで、この“yoccatta”の登場です。白色をベースにしたスポーティなバッグは丈夫で軽く、とても使い勝手

が良い様です。ネーミングの由来は「エアバッグが作動しなくてヨカッタ」「焼却されなくてヨカッタ」「バッグに生まれ変わってヨカッタ」などから、まさにモットイナイの精神で「ヨカッタ」です。

以前、海外でもトラックの輸送時に使われる幌が同じくバッグや小物になってリサイクルされる(フライターグ社)など、ファッションに敏感な方に人気を博しているというのも話題となりました。

リサイクルだけに留まらないアップリサイクルでオシャレに楽しみながら地球環境を考えていきたいものです。注目されること間違いなしです。

(株) 吉本興業 代表取締役 吉本 妙子



環境 ISO 2015 改訂版差分研修 セミナー開催

CSR推進室長 遠藤 清治



12月3日(土) 中特グループ本社2Fセミナールームで ISO14001の2015改訂版差分研修セミナーを(株)日本環境認証機構(JACO)より講師をお招きし開催しました。内部監査員、管理者並びに営業社員計23名が参加し 講義を受けました。ISOは改訂後3年以内に新規格での認証を要求しており、中特グループは2017年8月の更新時の認証を目指し推進しております。新しい規格要求事項が理解出来て準備の一端が整えられました。



●クイズの答え ()

●何かお困り事はございませんか？

●中特グループへの一言メッセージ



このたび(株)中特ホールディングスが2月14日(火)に、「やまぐち子育て応援企業」やまぐちイクメン応援企業」の登録を受けました!!

編集後記



2017年がスタートして、気が付けば3月に…。先日「二年あつという間で早いですね」と言っていたのに、また同じ会話をする日がすぐにやってくるです(笑)
皆さん、コミュニケーションVol.21いかがだったでしょうか？
今回は初めて中特グループの社員、ダチョウさんを紹介させていただきました。
皆さん是非「一人ずつ」「二羽ずつ」の顔と名前を覚えて頂ければ嬉しいです♪
「コミュニケーション」を作成するにあたりお忙しい中、御協力してくださった皆様に感謝いたします。
次号は8月を予定しております。皆さん楽しみにしてください♪(坂本)

中特グループの解体工事は、 まかせて安心・安全 すべての工程を専任管理者が行います。



● 家屋の解体工事を検討する。

「解体をする前に家の中を片付けるのが大変で・・・。」とお悩みの方が多いようです。

ご自宅を解体する場合のお片付けもひと苦勞ですが、遠方に空き家をお持ちの方の場合、そのお片付けの為に何度も足を運ぶのにかける時間と労力は計り知れません。

(株)吉本興業の女性スタッフによる不用品お片付けサービスをご利用いただけます。

● 必要書類の作成・提出する。

床面積80㎡以上の建築物の解体工事をする場合には都道府県知事への届出が法律で義務付けられています。

発注者は対象建設工事の着手7日前までに山口県等へ事前届出が必要となっており、この届出や分別解体等を行わなければ罰則を受ける場合があります。

中国特殊(株)では、解体工事の近隣挨拶、施工・管理は勿論の事、届出書の作成、建設リサイクル法書類の提出まで責任をもって代行します。

● 解体工事で発生した廃材は再資源化します。

解体工事に伴う木材・がれき等の産業廃棄物は、(株)リライフで収集運搬・処分させていただきます。

(株)リライフは法令遵守・適正処理を徹底しておりますので専門スタッフにお任せください。

解体工事作業事例



クイズコーナー!!

今回のクイズは…

この子はだあれ？

今からあげるダチョウちゃんは
いったい誰でしょう？



- 1 中特グループの
男前担当
- 2 いまどき男子の
イクメン君
- 3 女の子にとってもやさしい
ナイスガイ
タエちゃんに愛されています

今回のコミュニケーションをよく見ると答えが…
ハガキにダチョウちゃんの名前を書いて送って下さいね。

正解者の中から5名様に
「イオン商品券500円分」をプレゼント!!

ハガキに、答え・住所・氏名・電話番号・「中特グループへの一言メッセージ」を記入し、52円切手を貼って頂いた上で、〒745-0801 周南市大字久米3078-1 (株)中特ホールディングス クイズコーナー係までご郵送ください。お待ちしております！
※4月30日消印有効です。※正解は中特グループHPにてご確認ください。※お客様より頂いた個人情報は他の目的には一切使用しません。

郵便はがき



52円切手を
貼って下さい

7450801

周南市大字久米3078-1

(株)中特ホールディングス
クイズコーナー係 行

フリなが	
氏名	
住所	〒
電話番号	

※お客様より頂いた個人情報は他の目的には一切使用しません。